

政治学概論 II

(2) 議会と政府

議院内閣制と大統領制

- 議院内閣制

まず立法府（議会）メンバーを
選挙で選び、その中から行政府
（中央政府）の長＝首相を選ぶ
（イギリス、日本など）

※もともと立憲君主制を取って
いた国が、比較的多く含まれて
いる。

- 大統領制

立法府の選挙とは別に、行政府
の長＝大統領を国民が（直接）
選挙で選ぶ。

（アメリカ、フランス、韓国な
ど）

※立憲君主制を経ずに民主主義
となった国が、比較的多く含ま
れている。

議員内閣制（日本などの例）

首相は議会選挙の結果で交代
議会との関係で辞任（不信任）
複数党の連立政権となる場合も
※立法府の与党＝行政府を掌握

与党の政策推進において強力
民意（選挙）を受けた政策転換
行政府に対する抑止力が弱め

大統領制（アメリカなどの例）

大統領は任期が固定されている
（弾劾など特殊な場合のみ辞任）
三権分立がより徹底される形
※立法府と行政府が明確に区別

行政府の与党と立法府の与党が異なる場合もある（分割政府）
立法府の行政府に対するチェック機能が強い

日本の二院制と首相の選出

- 日本の国会（立法府）＝衆議院と参議院の二院制をとる
明治憲法下では貴族院（勅選）と衆議院（国民選挙）
二院制の目的＝多様な民意の反映、慎重な審議、政治空白を作らない

（世界的には一院制の国の方が多い＝人口の少ない国など）

衆議院の優越＝予算案の先議権、条約の承認、法案の再議決など

- 内閣総理大臣（首相）の指名
- 内閣不信任案の議決（首相の交代を求める）
⇒衆議院選挙（総選挙）は政権選択の選挙

衆議院

議員定数 465人

(選挙区289 比例区176)

任期 (4年)

= 解散のため平均で3年程度で総選挙される場合が多い。

被選挙権 = 25歳以上

※「第一院」としての性格が不明確では？

参議院

• 議員定数 248人

(選挙区148 比例区100)

任期 (6年)

= 3年ごとに半数ずつ改選 (選挙) され、解散はない

被選挙権 = 30歳以上

※参院は衆院のカーボンコピーとの批判が常にある

首相（与党） ・ 野党の役割

- ・ 首相は何ができるか？

行政全般の方針を立てる責任者
官僚（公務員）の長
閣僚（スタッフ）の任免権
党内事情で短期間での交代
リーダーシップの問題
（大統領と比べてどうか？）
衆院の解散権（濫用の批判も）

- ・ 野党は何をすべきか？

与党となる準備（影の内閣）
与党・政府の監視
異なる政策（対案）の提示
「政治を変える必要がある」
のは何故か、説得力ある議論
※官僚との関係、野党の不利さ

二院制の問題点と首相公選制

- 現行の衆参二院制は妥当なものか？
- 「一院制」もしくは「弱い二院制」を望む意見も
⇒意思決定の明確化、迅速化
- 現行の議会システムではほぼ2年に1回の国政選挙
※議会制度の改変には憲法的大幅な改正が必要になる

■首相の選出をより国民投票型に近づけるべきとの意見も
⇒首相公選制

党首＝首相候補の明確化と政権公約で衆院選の機能を
首相公選に近づける方式も

調べてみよう

- あなたが関心がある国の議会制度、政府との関係はどうなっているか、詳しく調べたうえで日本の制度と比較し、その長所短所を考えてみましょう